

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	三の倉市民の里	文化会館	学習館	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	人と自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図るとともに、広く市民の生涯学習を推進するための宿泊研修施設。	市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るための施設。	市民一人一人の学習・文化活動を支援促進するとともに、生涯学習に係る事業の有効的な実施の推進を図ることにより、市民文化の向上に寄与するための施設。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	期待以上	期待以上	
	自主事業	期待以上	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	48,839,720	208,771,159	149,080,944
	内利用料金収入	6,545,910	27,328,787	11,843,350
	内指定管理料	39,970,000	102,800,000	115,129,000
	支出	47,455,500	200,722,479	140,392,933
	収支	1,384,220	8,048,680	8,688,011
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	期待以上	期待以上	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の受け入れを順調にスタートさせ、野外授業に対応するサービスを充実させて新たな利用者を獲得した。 ・父親が積極的に参加できるようなイベントを多数開催し、家族間交流をこれまで以上に盛んにした。 ・利用者が安心して自然と触れ合えるよう敷地内の里山空間を地元の人の協力を得て点検、整備した。 ・市民との協働活動が定着し、いつでも遊学実行委員からは施設運営の今後についても意見をもらい利用者の拡大を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館30周年周知事業を積極的に開催した。 ・電話回線の増設や、クレジットカードの追加導入など、利用者の利便性を改善することができた。 ・外部の助成事業を積極的に活用し、指定管理料以外の収入源を確保することにより事業を実施している。 ・幅広いジャンルに亘り様々な事業を展開している。 ・文化会館に来られない人にも文化芸術に触れる機会を提供する鑑賞のバリアフリーを目指して、公民館での音楽会や演芸サロンを開催し定着させた。小学校、中学校へのアウトリーチ事業、地域で楽しめる音楽会や演芸会など文化会館以外での事業や子育て中の人には託児サービスを行うなどの普及啓発事業も推進している。 ・新企画「ことばの劇場」を開催し、予想以上の反響があった。 ・高位安定した運営ができており、実績についても満足できる内容で、期待以上の成果が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで10社と別々に委託していた維持管理・保守点検業務を、総合的にマネージメントができる1社に一元化し、合理化に努めている。 ・館内の劣化箇所の把握に努め、指定管理者制度導入以後最多となる78項目の修繕・リニューアル工事を実施した。(23年度修繕・整備費総額7,038,076円)特に23年度は空調設備、消防設備の劣化・故障が目立ったため、その対応を進めた。 ・内装のリニューアルや備品の更新を積極的に実施している。 ・照明の見直しやデマンド管理の徹底により、年間電気使用量が前年比で約10%、電気代が約125万円の縮減となった。 ・文化事業に関する取り組みとして「まなびの散策」「1階フロア事業」「外部との連携事業」「オープンキャンパス」など新しいイベントを積極的に行っている。 ・公民館を統括し、公民館と一体となって、市の生涯学習の推進に大きく寄与している。 ・全体的な施設の運営については良好に行われている。 ・施設維持管理は成熟しており、事業についても先進的に実施されており、期待以上の成果が出ている。 	
利用人数・前年度比増減率	延べ24,157人 (前年度比4.7%減)	延べ212,637人 (前年度比0.1%減)	延べ105,278人 (前年度比0.4%減)	
増減の理由	東北大地震後、レジャーを自粛するムードがあったことで、利用者が減ったと思われる。	とくになし	とくになし	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	図書館・子ども情報センター	旭ヶ丘公民館	市之倉公民館	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	期待以上	良好	
	市事業の実施	良好	期待以上	
	自主事業	期待以上	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	133,817,838	19,593,270	19,864,540
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	132,500,000	18,902,500	18,805,000
	支出	129,055,777	17,802,103	17,776,455
	収支	4,762,061	1,791,167	2,088,085
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	期待以上	良好	期待以上	
	○図書館本館 ・新しい事業として、学習館と連携し多治見を知るためのレクチャー付きウォーキング講座(土岐川と橋・商店街・永保寺)と資料展示を実施した。 ・子どもの読書活動推進活動の委員を通じて、図書館と市内の幼稚園・保育園・小中学校・保健センター・児童館が連携して読書推進事業を実施できるようになった。 ・重点収集している陶磁器関連資料と多治見の地域資料の書架を来館者の目に留まりやすい場所に置き、利用者に地域資料の提供をアピールできた。 ・「福袋」「おみくじ」等、季節性のあるイベントを通して、普段読まない分野への読書案内や、家庭での親子読書の提案ができた。 ・リライトカードを導入し、貸出人数も貸出冊数も増加しており、期待以上の成果をあげることができた。 ○子ども情報センター ・多治見北高等学校影絵上演 多治見北高校の生徒さんより、文化祭で取り組んだ影絵を上映したいと申し出があり、活躍のお手伝いできた。 ・たじみオープンキャンパスU-19 学習館主催の「オープンキャンパス」事業の中で、19歳以下のアドバイザーが講座を開催できるようにサポートした。 ・部活サポートシリーズ 写真部と陸上部を開催し、中高生の部活動の取り組みの一環とすることができた。 ・わくわく親子講座 わくわく親子講座と題して、2ヶ月から1歳前後の赤ちゃんとその母親が参加できる講座「ママピラティス」「ノックノックえいごのとびら」を開講し、大好評、新規登録などの利用促進もなった。 ・貸出人数は、前年比125%、貸出冊数は、前年比122%となりました。どの年代も伸びており、事業との連携で期待以上の成果をあげることができた。	・様々な問題を抱える地域の中で頻発するトラブルに対し、適切に処理している。 ・従来使用が少ない時間帯に新たな講座を企画し同好会に発展させるなど利用者拡大に努めている。 ・地域の小中学校との連携が定着してきている。 ・地域と連携し、新たな事業にも積極的に取り組んでいる。 ・ロビーがない施設なので、ローカギャラリーを開催し、新しい利用者の来館促進につながった。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・講師希望が少なくオープンキャンパス事業は減少しているが、独自の企画で新たな使用者の獲得に努めている。 ・高齢者向けの「ひだまり健康大学」が3年目をむかえ、参加者も増加し元気な高齢者が増えてきている。 ・地域の人のための地域の人による「地域主役型ホームページ」を目指し、全国公民館ホームページコンクールで優秀賞(全国2位)に選ばれた。 ・故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・ホームページをただの情報発信だけでなく、コミュニケーションツールとしてうまく運用し、地域づくりに貢献することができた。	
利用人数・前年度比増減率	図書館:延べ169,040人(前年度比2.7%増) 子ども情報センター:延べ7,996人(前年度比25.1%増)	延べ47,762人 (前年度比9.5%減)	延べ29,637人 (前年度比7.5%減)	
増減の理由	図書館:リライトカード導入により、休眠利用者の利用促進に繋がった。子ども情報センター:参加型事業の実施により施設の周知が図れ、利用者が増加した。	公民館まつりの来場者減少等による。	とくになし	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	養正公民館	南姫公民館	脇之島公民館	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。			
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	期待以上	期待以上	
	自主事業	期待以上	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	20,863,140	21,429,864	20,420,672
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	19,284,000	20,119,500	18,923,500
	支出	19,620,084	20,299,923	19,111,525
	収支	1,243,056	1,129,941	1,309,147
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	
全体的評価	期待以上	期待以上	良好	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係団体との連携事業を充実させてきている。特に学校とは様々な事業を展開し良好な関係を築き定着させてきた。 ・特色ある事業で新規参加者と男性参加者を増やすことができた。 ・養正元気サロン、ひよこのひろばなど新規交流事業を開催し、定着させることができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・指定管理料が減額になったことにより収入が減少したが、利用者数を増加させ、コストパフォーマンスをアップすることができた。 ・新たな試みとして、公民館モニター制度を実施し、新規利用者を開拓することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スローライフ事業で自由菜園“菜っぱ会”を立ち上げ、団塊世代対応として好評であった。 ・狙い通り自主的なスローライフ事業の拡大が図れた。(農園倍増1600⇒3200㎡) ・利用団体会議を定期的に開催して団体から要望を聞くとともに、公民館からの注意事項の周知の場としている。 ・利用団体には公民館がバックアップして体験講座を開催させて新規の利用者の獲得に努め実績を上げている。 ・事業の見直しを実施して効率的な事業の推進に努めた。 ・指定管理料が減額になったことにより収入が減少したが、利用者数を増加させ、コストパフォーマンスをアップすることができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 ・地域の特徴を活かした事業が年々広がりを見せており、地域性の高い施設にもかかわらず、市内全域から参加者を募ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進委員の指導で「健康サロンわきのしま」を開始し、夕方の時間設定で利用も高まっている。 ・地域のボランティア団体等が中心になっている事業が定着し、“地域に支えられる公民館”となってきた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 	
利用人数・前年度比増減率	延べ50,385人 (前年度比1.2%増)	延べ43,368人 (前年度比6.2%増)	延べ27,353人 (前年度比2.3%減)	
増減の理由	講座終了後、新規のサークルができていることによる。	講座から同好会への移行がうまく図れたことによる。(6団体発足)	とくになし	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)			
施設名	小泉公民館	精華公民館	
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上
	自主事業	良好	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好
	備品管理	良好	良好
	その他管理	良好	良好
収支状況(円)	総収入	21,457,580	21,665,880
	内利用料金収入	—	—
	内指定管理料	20,396,500	20,710,000
	支出	20,442,711	20,581,251
	収支	1,014,869	1,084,629
市民利用者の声の反映	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や青少年まちづくり市民会議との事業が定着してきており、多くの参加者を得ている。 ・文化会館との連携などでコンサートを始め地域の人に好評を得た。 ・趣味の講座は多くの受講生があり、同好会へとつながった。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性にもっと利用してほしいと願い、男性の興味のある「歴史講座」「庭木の剪定」を開催し、好評であった。 ・若い世代に向けて、未就園児親子対象の講座「子育てヨーガ」を行い親育ち支援をした。 ・幼稚園帰りの未就学児を対象とした「おしゃべりサロン」では、子どもが気楽に楽しめるものを企画した。子どもたちの情緒を膨らます講座となった。 ・利用団体が多く、部屋があまり空いていない状況のなか、協定に定められている事業数よりも多い公民館自主事業を実施している。 ・ギャラリースペースを拡大し、来館者の増加に繋げるなど施設を有効に利用して新規公民館利用者の拡大に努めている。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。 	
利用人数・前年度比増減率	延べ49,312人 (前年度比0.7%減)	延べ58,770人 (前年度比4.5%減)	
増減の理由	とくになし	定期利用団体が減少したため。	

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設(指定公園については、同課及び緑化公園課所管))

施設名	指定公園及び運動場 ※H23年度指定替えにより笠原運動場・公園追加	体育館	平和マレットゴルフ場	
指定管理者名	株式会社 コパン	株式会社 コパン	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するための施設。	スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	若干不備あり	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	若干不備あり	良好	
	自主事業	若干不備あり	若干不備あり	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	84,659,683	71,056,116	1,650,806
	内利用料金収入	20,982,002	15,327,513	470,450
	内指定管理料	63,847,000	53,153,000	1,140,000
	支出	80,525,667	69,328,404	1,704,845
	収支	4,134,016	1,727,712	▲ 54,039
市民利用者の声の反映	良好 良好	良好 良好	良好 若干不備あり	
全体的評価	<p>○屋外体育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の維持管理については、前指定管理者から引き継ぎ、清掃・修繕等は、適切に行われている。 ・台風15号の豪雨災害により星ヶ台管理事務所を閉鎖した際には、速やかに対応し、星ヶ台競技場及び総合体育館を代替の窓口として利用者へのサービスが低下しないように配慮した。 ・職員研修はアルバイトも含め、全社員に対し積極的に行っている。 ・利用者アンケート調査については、笠原体育施設以外は行われていない。 ・自主事業については、目新しい事業は見られない。 <p>○指定公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定公園全体として施設の維持管理は、適切に行われている。 ・専門業者による遊具の点検結果をうけ、危険性のあるものを指定管理者にて利用を停止とするなど、主体的に事業執行していることは評価できる。今後、簡易な修繕等については施設管理者が迅速に対応していくよう事業執行体制の確立に努めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの総合体育館に加え、公園・屋外体育施設を合わせて市のスポーツ施設を総合的に管理運営することとなった第二期指定管理期間の初年度としては、全体的には従来どおり堅実な運営を行っている。 ・指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努めている。台風15号の豪雨災害により星ヶ台管理事務所を閉鎖した際には、速やかに対応し、星ヶ台競技場及び総合体育館を代替窓口として利用者へのサービスが低下しないように配慮した。 また、職員研修はアルバイトも含め、全社員に対し積極的に行っている。 ・施設修繕は小規模なものは速やかに対応している。 ・経理、利用実績の数値は、前年度と比較して、全体的に減少している。 	<p>今年度より、前指定管理者から引き継いで管理運営を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の受付、整備については、通常は有償ボランティアが交代で対応し、適正に行われている。 ・指定管理者制度について十分認識されているとはいえない部分があり、市に頼る傾向が見られる。 ・指定管理初年度ということで、管理運営方法での若干の戸惑いが見られるが、施設の利用向上のための課題を把握して関係機関への働きかけや利用者の意見を反映させるべく方法を市とともに検討している。 	
利用人数・前年度比増減率	延べ211,542人 (前年度比19.1%減) ※指定替えにより追加となった笠原運動場・公園分を加えたH22年度数値による比較	延べ157,900人 (前年度比1.6%減) ※昭和体育館(H22年度未廃止)の利用人数を除いたH22年度数値により比較	延べ2,100人 (前年度比13.1%増)	
増減の理由	岐阜市の施設が国体工事のため代替として昨年増加した星ヶ台競技場が減少したことによる。	4ヶ月間利用を停止した第2競技場が減少したことによる。	施設の周知度が低く、地元の利用が少ないことによる。	